

1. 各種委員会・部会報告

① 介護保険推進委員会

本年度は、年度当初4月1日の改正介護保険法の施行並びに介護報酬改定の会員事業所の経営への影響について緊急実態調査を行い、調査結果に基づき適正な介護保険制度・報酬の確立に向けて厚生労働省・国会議員と意見交換・提言を行った。その経緯、内容等については、ホームページ、3月26日の総会及び本会機関紙「かけはし」号外で報告するとともに、調査結果をホームページに掲載して会員に提供した。

また、介護保険に関する相談窓口を設置し、県民からの介護保険制度の利用に対する相談に応じた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護保険 推進委員会 (8回)	4月18日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成23年度事業報告について 2. 平成24年度事業について ①介護報酬改定に伴う県としての重点項目 (例)デｲｰビス提供時間の考え方について ②調査項目(概要・調査内容の調整) ③依頼事項・意見交換 3. その他	県老協 8名 県庁 2名
	6月11日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年事業について ①調査項目(概要・調査内容の調整) ②依頼事項・意見交換 2. 平成24年4月の報酬改定に伴う加算申請等の状況 3. その他	県老協 6名
	7月2日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年事業について 調査について(調査内容の調整) ①意見交換 ②タイムスケジュールについて 2. 次期介護報酬改定に向けての調査 3. その他	県老協 9名 県庁3名
	8月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年度事業について 調査について(調査内容の決定) ①意見交換 2. 次期介護報酬改定に向けての調査 3. その他	県老協 7名 県庁1名 川原経営 総合セン ター1名
	10月3日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年度事業について 調査中間報告について ①意見交換 2. 次期介護報酬改定に向けての調査 3. その他	県老協 9名 県庁1名 川原経営 総合セン ター1名
	11月8日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年度事業について 調査報告について ①意見交換 2. 次期介護報酬改定に向けての調査 3. その他	県老協 10名 県庁1名 川原経営 総合セン ター 1名

	12月13日	兵庫県農業共済会館	<協議事項> 1. 平成24年度事業について 調査報告について ①意見交換 ②意見交換項目について 2. その他	県老協 10名 県庁2名 川原経営総合センター 2名
	2月4日	県福祉センター	<報告事項> 1. 厚生労働省との勉強会について <協議事項> 1. 平成25年度事業計画について 2. その他	県老協 9名
調査研究事業			介護報酬改定に伴う事業所運営への影響に関する調査	

② サービス評価委員会

会員特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に、本年度も14施設と再評価2施設を訪問し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書にまとめ一般に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
班長会議	4月24日	県福祉センター	<協議事項> 1. サービス評価事業について ・ 班長の役割について ・ タイムスケジュールについて ・ 委員の心得について 2. 平成24年度のサービス評価事業のあり方 ①委員の変更・班構成 ②平成24年度サービス評価実施施設 ・ 実施日の調整方法 ③今年度のすすめ方 ・ 実施施設説明会 ・ 再評価実施施設説明会 ・ 委員勉強会 3. サービス評価希望項目について 4. 平成23年度サービス評価事業の報告書について 5. その他	7名

再評価 実施施設 説明会	6月13日	県福祉センター	1. 実施施設の紹介 2. 概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 再評価事業のあり方について 5. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス評価事業実施要綱 ・ サービス評価委員名簿 ・ 当日タイムスケジュール 【事前提出資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設データ ・ 職員状況(常勤・非常勤、男女) ・ 利用者の状況 ・ サービス評価希望項目 【実施後提出資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス評価事業実施施設所感文 ・ サービス評価事業総括票 6. 実施視察日程調整について 7. 質疑応答 8. その他	2施設 15名
実施施設 説明会	6月13日	県福祉センター	1. 平成24年度サービス評価実施施設の紹介 2. サービス評価事業概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス評価事業実施要綱 ・ サービス評価委員名簿 ・ 当日タイムスケジュール 【事前提出資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設データ ・ 職員状況(常勤・非常勤、男女) ・ 利用者の状況 ・ サービス評価希望項目 【実施後提出資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス評価事業実施施設所感文 ・ サービス評価事業総括票 5. 実施視察日程調整について 6. 質疑応答 7. その他	14施設 42名
サービス 評価委員 勉強会	8月13日	県福祉センター	1. 委員・事務局紹介 2. サービス評価について 『サービス評価事業の意義と活用』 関西福祉科学大学 大学院 教授 津田耕一氏 『昨年度を振り返って』 Office KURIHARA 栗原紀代美氏 3. タイムスケジュールについて 4. 事前資料確認方法 5. 報告書の作成について 6. 委員の心得について 7. 各職種別意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各評価項目確認について統一すべきポイント ・ 実施視察において統一すべきポイント 	21名

評価事業 実施施設	9月～2月	各実施施設	武庫アルテンハイム、名塩さくら苑、ウエルライフ西宮、幸泉サング、みどり園、加古川さくら園、向陽苑、社すみれ苑、第二姫路・勝原ホーム、あやめ苑、野桑の里、山ゆりホーム、しいの木荘、千鳥会ゴールド 〔再評価施設〕 宝塚ちどり、夢の里 (サービス評価実施報告書参照)	14施設・ 再評価 2施設
総括会議	3月22日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 平成24年度サービス評価事業について ① 平成24年度サービス評価事業公表まとめ ・ 特徴的なサービス事例 ・ 実施施設「良い現状」事例 ・ 実施施設全体の総評(班長) ② 再評価実施施設のまとめ 2. その他	23名
発行物	「サービス評価事業報告書-平成24年度版-」 (部数) 冊子 800部 (配布先) 会員施設・関係団体			

③ 拘束なき介護にむけての検討委員会

本年度は、昨年度に引き続き「介護老人福祉施設における高齢者虐待」をテーマに事業を展開した。

職員研修会では「高齢者虐待の予防・防止」をテーマに、「自施設における不適切なケア」とその「要因・対応策」についてグループワークで議論した。高齢者虐待には至らずとも、その可能性を含んだ不適切なケアや関わりを日々のケアで行っているのではないかという気づきと共にその対策を考える機会となった。

公開シンポジウムは、より広く全国的な高齢者虐待の現状やその防止にむけた取り組みなどを知る機会として「高齢者の尊厳保持、人権を擁護したケアを目指して」をテーマに、福祉関係者はもとより、広く県民とともに、利用者の人権を尊重した施設サービスについて共に考える機会として開催した。

また、平成23～24年度の委員会活動を「拘束なき介護にむけての検討委員会活動報告書」としてまとめ発行した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
拘束なき介護 にむけての 検討委員会 (9回)	5月17日	県福祉センター	〈報告事項〉 1. 平成23年度事業報告について 2. 拘束なき介護にむけての取り組み実践記録集について 〈協議事項〉 1. 平成23年度職員研修会振り返りシートについて 2. 平成24年度事業スケジュールについて 3. 職員研修会について 4. その他	9名
	6月28日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 平成23年度職員研修会振り返りシートについて 2. 職員研修会について 3. アドバイザー派遣事業について 4. シンポジウムについて 5. その他	8名

拘束なき介護 にむけての 検討委員会 (9回)	7月18日	県福祉センター	<協議事項> 1. シンポジウムについて 2. 職員研修会について 3. ハンドブック改訂作業について 4. シンポジウムについて 5. その他	8名
	8月29日	県福祉センター	<協議事項> 1. 活動報告書について 2. 職員研修会について 3. シンポジウムについて 4. ハンドブック改訂作業について 5. その他	11名
	10月11日	県福祉センター	<協議事項> 1. 職員研修会グループワークの集約について 2. シンポジウムについて 3. アドバイザー派遣事業について 4. その他	10名
	11月22日	県福祉センター	<協議事項> 1. 職員研修会グループワークの集約について 2. シンポジウムについて 3. アドバイザー派遣事業について 4. その他	9名
	12月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 活動報告書について 2. シンポジウムについて 3. 平成25年度事業計画について 4. その他	9名
	1月16日	県福祉センター	<協議事項> 1. 活動報告書について 2. 平成25年度事業計画について 3. シンポジウムについて 4. その他	10名
	3月19日	県福祉センター	<報告事項> 1. シンポジウムについて <協議事項> 1. 活動報告書について 2. 平成25年度事業計画について 3. その他	9名
拘束なき介護 にむけての 職員研修会	9月12日	県福祉センター	<講演> 『不適切ケアを防ぐ』 特別養護老人ホームフィオーレ南海 柴尾慶次氏 <グループワーク> 『自施設の不適正ケアを考えよう!』 <アンケート記入>	113名

拘束なき介護にむけてのシンポジウム	2月12日	兵庫県民会館	<報告> 『介護老人福祉施設における高齢者虐待を考える ～現場からの発信～』 本会拘束なき介護にむけての検討委員会 岩上紀子氏 <講義> 『高齢者虐待の現状と防止にむけた取り組みを考える』 関東学院大学文学部現代社会学科 教授 副田あけみ氏	222名
拘束なき介護にむけてのアドバイザー事業	9月21日	みどり園	施設内職員研修会講義	
発行物	「拘束なき介護にむけての検討委員会活動報告書」 (種別)冊子 500部 (配布先)会員施設、関係団体			

④ 調査研究委員会

本年度は、「地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組みについて」をテーマに、会員事業所へのアンケート調査により、会員が現在取り組んでいる地域貢献事業を把握するとともに、アンケート調査では十分に明らかにできない関係者の思い、地域の状況、福祉課題を聞き取るために地域性等を勘案して3施設のヒアリング調査を実施した。結果を広く県民に情報提供するとともに、会員が今後の地域貢献のあり方を考える上で、有益な資料となることを目的として報告書にまとめ発行した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
調査研究委員会 (5回)	6月1日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度事業報告について <協議事項> 2. 平成24年度事業計画について 3. 調査内容及びスケジュールについて 4. その他	8名
	8月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. 地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組みについて ①プレ調査結果について ②ヒアリング調査について ③今後の方向性について 2. その他	6名
	10月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組みについて ①ヒアリング調査について ②本調査について ③分析の方向性、担当割について 2. その他	7名
	1月25日	県福祉センター	<協議事項> 1. 地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組みについて 2. ヒアリング調査について 3. 平成25年度事業計画について 4. その他	7名

	3月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. 地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組みについて 2. ヒアリング調査について 3. 平成25年度調査テーマ会員ニーズ調査について 4. その他	8名
調査結果	「地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組み」 (種別) 冊子 600部 本会ホームページ掲載 (公開先) 会員事業所、関係団体、一般			

⑤ 編集委員会

会員施設が実施している事業やサービスの内容等を広く県民に情報発信するとともに、会員相互の情報や意見の交流を目的とした機関紙「かけはし」を3回発行・配布し、併せてホームページ上に掲載した。

なお、83号は「医療・介護制度の今後の行方」を、84号は「施設での看取り介護」を特集した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
編集委員会 (3回)	7月9日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度事業報告について 2. かけはし81号について <協議事項> 1. 平成24年度事業計画について 2. かけはし82号について 3. かけはし83号について 4. その他	10名
	10月24日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし83号について 2. かけはし84号について 3. 平成25～26年度委託業者の選定について 4. 平成25年度事業計画について 5. その他	9名
	2月28日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし83号について <協議事項> 1. かけはし84号について 2. 平成25年度事業計画について 3. その他	7名
発行物	「かけはし」 82号・83号・84号 (種別) 機関紙：82、84号は各1,000部、83号は1,200部(施設長研修会資料としても配布) (時期) 7月・11月・3月 (配布先) 会員施設、関係団体			

⑥ ケアプランリーダー養成・派遣事業委員会

本年度は、改訂版テキスト「介護老人福祉施設 包括的自立支援プログラム」を用いて、「包括的自立支援プログラム」を基軸に、各ブロック研修会の円滑な開催運営を目的とする発展的なケアプランリーダー養成研修会を開催した。

また、各ブロックリーダーと連携して『ブロック研修会』を実施した。併せて各ブロック研修会への『講師派遣事業』を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン リーダー養成 ・派遣事業 委員会 (5回)	4月27日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度事業報告について <協議事項> 1. 平成24年度事業スケジュールについて 2. ケアプランリーダー養成研修会について 3. 研修会用共通事例について 4. ケアプランテキスト字句訂正について 5. その他	9名
	6月14日	県福祉センター	<協議事項> 1. ブロック研修会について 2. ケアプランリーダー養成研修会について 3. 研修会用共通事例について 4. その他	8名
	8月23日	県福祉センター	<協議事項> 1. ブロック研修会について 2. ケアプランリーダー養成研修会について 3. その他	7名
	12月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. ブロック研修会について 2. 平成25年度事業計画について 3. 平成25年度研修会用共通事例について 4. その他	9名
	3月14日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成25年度事業計画について 2. ケアプランテキスト改訂版について 3. 平成25年度研修会用共通事例について 4. その他	8名
ケアプラン リーダー 養成研修会 (年2回)	7月12日 ～ 7月13日	ホテルパール シティ神戸	(1日目) 講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームこぶし園 邊見豊氏 共通事例説明・演習 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 講義③『ケアプランリーダーの心得、研修プログラムの 構成について』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 ブロック研修プログラムについて (2日目) 共通事例演習②・共通事例演習総括 講義④「ICFの概念と“包括的自立支援プログラム (アセスメントツール)”」 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 共通事例演習 (ICF 概念)	24名
	9月27日	県福祉センター	自施設事例演習 研修会総括 特別養護老人ホームこぶし園 邊見豊氏	

ケアプラン 研修会	※詳細は、平成 24 年度ブロック助成事業報告書参照			
	ブロック	実施日	場 所	参加人数
	阪 神	11 月 19 日	K-maison ときめき	25 名
	東播磨	11 月 21 日	小野市うるおい交流館エクラ	37 名
	姫 路	11 月 17 日	姫路商工会議所	21 名
	西播磨	11 月 16 日	赤とんぼ荘	28 名
	但 馬	10 月 25 日	但馬長寿の郷	25 名
	丹 波	10 月 13 日	柏原住民センター	16 名
	淡 路	11 月 16 日	洲本市健康福祉館	22 名
委員派遣 事業	10 月 25 日	但馬長寿の郷	【但馬ブロックケアプラン研修会】 講義『包括自立支援プログラムケアプラン作成の理念』 講義『包括自立支援プログラム作成の特長と作成手順』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見豊氏	
	11 月 16 日	赤とんぼ荘	【西播磨ブロックケアプラン研修会】 講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見豊氏	
	3 月 8 日	但馬長寿の郷	【但馬ブロックケアプラン研修会（応用編）】 『包括的自立支援プログラムの理念と作成手順 (自施設事例を通して)』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見豊氏	

⑦ 研修委員会

会員事業所のニーズに沿いながら、職員・施設長を対象にサービスの質の向上等、専門的かつ充実した内容の研修を企画開催した。

本年度は、新たに介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験を開催した。

また、11 月 11 日「介護の日」に合わせ、広く県民を対象に福祉・介護に対する理解を一層深めることを目的にシンポジウムを開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修委員会 (4回)	5 月 16 日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成 23 年度事業報告について <協議事項> 1. 平成 24 年度事業スケジュールについて 2. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 3. 各種研修会について 4. その他	7 名
	8 月 22 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 2. 介護の日シンポジウムについて 3. 施設長研修会について 4. その他	6 名

	10月2日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について <協議事項> 1. 介護の日シンポジウムについて 2. 施設長研修会について 3. 職員研修会について 4. その他	6名
	12月4日	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	<協議事項> 1. 介護の日シンポジウムについて 2. 職員研修会について 3. 平成25年度事業計画について 4. その他	7名
介護支援専門員 実務研修受講 試験対策 模擬試験	9月23日	県私学会館	模擬試験 講師による模擬試験ポイント解説 笠松町地域包括支援センター・センター長 荒木篤氏	総数 83名 (会員71名 、非会員 12名)
職員研修会	3月11日	県福祉センター	講義『スタッフのモチベーションアップを考える』 生活介護研修所 代表 坂本宗久氏	70名
介護の日 シンポジウム	11月7日	兵庫県民会館	講演①「老いを生きるということ」 精神科医・浜田クリニック 竹中星郎氏 講演②「介護の達人は人生の達人」 フリーアナウンサー・エッセイスト 小谷あゆみ氏	169名
施設長 研修会	12月3日 ～4日	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	【1日目(12月3日)】 <基調報告> 兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳氏 <講演> 『医療・介護制度の今後の行方 ～2025年に向けて～』 国立社会保障・人口問題研究所 企画第一室長 川越雅弘氏 『地域包括ケアシステム 実現の可能性を考える』 淑徳大学 総合福祉学部 准教授 結城康博氏 【2日目(12月4日)】 <行政報告> 『地域包括ケア構築に向けた 兵庫県の取り組みと課題』 兵庫県健康福祉部高齢社会課長 伊澤知法氏 <講演> 『地域包括ケアシステムの中の介護老人福祉施設は どうあるべきか ～改訂報酬後の特養・通所介護・居宅介護支援のあり方～』 特別養護老人ホーム緑風園 総合施設長 菊地雅洋氏	120名

⑧ 養護部会

本年度は、利用者が自立した日常生活を営み、社会的活動に積極的に参加し充実した生活を実現する為に、養護老人ホーム本来の役割・機能について検討するとともに、特定施設や個別契約型等の養護老人ホームでソーシャルワークを踏まえた利用者主体の質の高いケアの実現に向け委員会・研修会を開催した。また、調査研究事業としてリーフレットを作成した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 (3回)	5月31日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成24年度事業計画について 2. 平成25年度予算対策について 3. その他	4名
	7月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成24年度事業について 2. その他	4名
	1月8日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 養護部会施設長研修会 2. 平成25年度事業計画について 3. その他	3名
第1回 職員研修会	10月5日	県福祉センター	講義 『認知症を含む精神疾患を有する 利用者への対応について』 西播磨総合リハビリテーションセンター 認知症疾患医療センター長 柿木 達也氏	61名
第2回 職員研修会	11月9日	県福祉センター	講義 『施設におけるアディクション問題を抱える 利用者への対応と職員のメンタルヘルス』 大阪市立大学大学院看護研究科 教授 實田穂氏	50名
施設長 研修会	1月15日	県福祉センター	講義 『監査指導・県内の条例状況について』 兵庫県健康福祉部高齢社会課高年施設係 係長 向田憲司氏 講義 『地域包括ケアシステムにおける 養護老人ホームの位置づけ』 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留志郎氏	32名

⑨ 軽費・ケアハウス部会

職員研修会及び施設長研修会を実施するとともに、特に本年度は「ケアハウス利用促進のための取組」をテーマに、まず各施設の利用者確保に向けての取り組みの状況を情報提供するため「利用促進のためのアンケート調査」を実施した。また、各事業所の利用者確保の一助となることを目的に「軽費・ケアハウスモデルリーフレット」を作成し、本会ホームページ上に掲載し利用促進を図った。

軽費老人ホーム事務費補助金の一般財源化に伴う予算確保について、引き続き県に予算要望を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
軽費・ ケアハウス 部会 (3回)	6月15日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度事業報告について <協議事項> 1. 平成24年度事業スケジュールについて 2. 平成25年度予算要望について 3. 各種研修会について 4. その他	5名
	9月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成25年度予算要望について 2. 職員研修会について 3. 施設長研修会について 4. 「ケアハウス入居者確保にむけての取り組み調査」について 5. 軽費・ケアハウスリーフレット作成について 6. その他	5名
	12月6日	県福祉センター	<報告事項> 1. 職員研修会について <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. 役員改選について 3. 「ケアハウス入居者確保にむけての取り組み調査」について 4. 軽費・ケアハウスリーフレット作成について 5. 平成25年度事業計画について	5名
職員 研修会	10月18日	県福祉センター	講義・演習 『共想法について』 千葉大学大学院工学研究科 准教授 大武美保子氏	36名
施設長 研修会	3月13日	県福祉センター	<部会報告> 『ケアハウス入居者確保にむけての取り組み調査、 軽費・ケアハウスリーフレットについて』 軽費・ケアハウス部会 部会長 澤村安由里氏 <講演> 『軽費・ケアハウスと取り巻く課題と今後の展望に ついて』 地域密着型総合ケアセンターきたおおじ 代表 山田尋志氏	25名
発行物	「軽費・ケアハウスモデルリーフレット」 (種別) 本会ホームページへ掲載 (対象) 本会会員施設			

⑩ デイ部会

本年度は、「地域包括ケアシステムにおけるデイサービス事業の展望」をテーマに管理者及び職員の研修会を開催し、国が通所介護の現場に何を求めているのかについて共通理解を図った。

また、福祉人材の確保、事業所内研修システム、リーダー育成等をテーマに、管理者研修、リーダー育成研修会を企画開催した。

平成 24 年 4 月の介護報酬改定の会員事業所への影響等を把握するため実態調査を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
デイ部会 (4回)	5月11日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成 23 年度事業報告について <協議事項> 1. 平成 24 年度事業スケジュールについて 2. 各種研修会について 3. 介護報酬改定に伴う会員事業所実態調査について 4. 平成 25 年度予算要望について 5. その他	6名
	7月27日	県福祉センター	<協議事項> 1. 介護報酬改定に伴う会員事業所実態調査について 2. 平成 25 年度予算要望について 3. その他	4名
	11月16日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 25 年度事業計画について 2. 役員改選について 3. その他	4名
	3月8日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 25 年度事業計画について 2. 役員改選について 3. その他	7名
職員 研修会 (2回)	7月27日	県福祉センター	講義『医療・介護制度改正の動向と通所サービスに期待される役割』 国立社会保障・人口問題研究所 企画部第一室長 川越雅弘氏 講義・演習『ケアは必ず良くできる』 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 教授 備酒伸彦氏	76名
	8月17日	神戸学院大学	講義・演習『トランスファーから考える 安定の確保から安心の提供へ』 生き活きサポートセンターうえるば高知代表 理学療法士 下元佳子氏 京阪ライフサポート株式会社ケア事業部 ローズライフ事業部次長 理学療法士 眞藤英恵氏	68名
リーダー 育成研修会	11月16日	県福祉センター	講義『介護リーダーの仕事術 2012 ～会議力&企画力アップを目指して～』 メディックプランニング 代表 三好貴之氏	90名
管理者 研修会	2月22日	県福祉センター	講義『選択されるデイサービスセンターを目指して ～経営・運営、人材確保・育成の視点から～』 エイデル研究所 経営支援・人材育成統轄部 部長 小林雄二郎氏	82名

2. 情報発信事業

本会が実施している事業並びに会員の老人ホーム等が実施している事業やサービス内容等を会員及び広く県民に情報発信することを目的に、下記報告書等を発行するとともに、本会ホームページ上で公開した。

事業名	時期	配布先	内容	部数
かけはし	7月・12月 3月	会員事業所 関係団体	かけはし 82号～84号を発行し、会員施設並びに関係団体へ配布し、併せてホームページ上に掲載した。	82、83号 1,000部 83号のみ 1,200部
地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組み	年1回	会員事業所 関係団体	「地域包括ケア時代における老人福祉事業所の地域貢献事業の取り組みについて」をテーマに調査結果を報告書にまとめ発行し、広く会員事業所並びに関係団体へ配布した。 また本会ホームページ上でも結果を公開し、広く県民へも情報を提供した。	600部 ホーム ページ
サービス評価事業報告書	年1回	会員事業所 関係団体	自己評価支援を行った14施設と再評価2施設の客観的な評価結果を報告書にまとめ、広く会員施設並びに関係団体、一般に配布した。	800部
拘束なき介護にむけての検討委員会活動報告書	年1回	会員事業所 関係団体	平成23～24年度の委員会活動を「拘束なき介護にむけての検討委員会活動報告書」としてまとめ、広く会員事業所並びに関係団体へ配布した。	500部
軽費・ケアハウスリーフレット	年1回	会員事業所	各事業所の利用者確保の一助となることを目的に「軽費・ケアハウスモデルリーフレット」を作成し、本会ホームページ上に掲載した。	ホーム ページ
情報発信事業	随時	本会ホームページ	本会ホームページで会員施設に各種情報をタイムリーに提供するとともに、本会の事業内容や会員施設の情報等を広く県民に提供した。	随時

3. 国・県への政策提言・関係諸団体との連絡事業

行政・各関係団体との連携を図るとともに、予算対策活動を実施した。

事業名	実施日	提出先	事業内容	参加人数
国・県予算対策事業 (要望書の提出)	7月23日	公明党県連	公明党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成25年度予算に向け要望を行った。	1名
	9月13日	県庁	兵庫県に対し、老人福祉施設の積極的な整備の促進など平成25年度予算に向け要望を行った。	9名
	9月18日	県議会	兵庫県議会に対し、老人福祉施設の積極的な整備の促進など平成25年度予算に向け要望を行った。	9名
	9月20日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成25年度予算に向け要望を行った。	2名
要望書に対する回答会	2月20日	県庁	平成25年度予算要望について兵庫県より回答を受けるとともに、意見交換を行った。	9名

	3月19日	自由民主党県連	自由民主党県連より平成25年度政策要望に係る回答を受けるとともに、意見交換を行った。	2名
介護報酬改定に伴う会員事業所の経営実態調査分析結果に基づく意見交換	12月21日	厚生労働省 関係国会議員	『平成24年度介護報酬改定に伴う会員事業所の経営実態調査分析結果に基づく意見交換』 (接見した方) 厚生労働省老健局関係各課 衆議院議員 谷 公一氏 参議院議員 末松信介氏 (要望書提出) 衆議院厚生労働労働委員会理事(現厚生労働大臣) 田村 憲久氏 他多数 ※かけはし 号外により状況報告	9名

4. その他の事業

① 表彰・感謝事業

会員の各事業所に従事する職員等で、10年以上勤務し顕著な功績のあった者等に対して、本会定時総会において表彰した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容
表彰	6月26日	ホテル北野プラザ 六甲荘	10年勤続職員 119名

② ブロック助成事業

各ブロックにおけるケアプラン等の研修実施に対し、本会からブロック研修助成金を交付した。
(平成24年度ブロック助成事業報告書参照)

③ 青年部会運営助成事業

社会福祉法人や老人福祉施設の次代を担う人材の育成を目的に設置されている青年部会の事業推進に対し、本会から事業助成金を交付した。

(平成24年度青年部会運営助成事業報告書参照)

④ 高齢者福祉事業に関する連絡調整事業

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
近畿老人福祉施設研究協議会《奈良大会》への参加	7月19日 ～20日	なら100年会館 他	【1日目】〔全体会〕 〈情勢報告〉 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏 〈講演〉 『介護職のためのセルフケアのすすめ方』 奈良県立医科大学 教授 車谷典男氏 〈鼎談〉 『いのちの素晴らしさ～奈良に暮らし、 想いをかたちにする～』 映画監督 河瀬直美氏 橿原市長 森下 豊氏 近畿・奈良県老人福祉施設協議会長 辻村 泰範氏 【2日目】〔分科会〕	129名

<p>全国老人福祉施設研究会議 《愛知会議》への参加</p>	<p>2月 27 日 ～28 日</p>	<p>愛知県体育館</p>	<p>【1日目】〔全体会〕 <基調報告> 『科学的介護の実現と介護保険制度の展望』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏</p> <p><情勢報告> 『日本再生…2025 社会保障の姿を考える』 公益社団法人全国老施協 常任顧問・参議院議員 中村 博彦氏</p> <p><講演Ⅰ> 『2025 年型介護・特別養護老人ホームの 在り方について』 名古屋学芸大学 学長 井形 昭弘氏</p> <p><講演Ⅱ> 『高齢者福祉と介護の原点から見る 「2025 年の社会保障制度」は』 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 理事長 古川 貞二郎氏</p> <p><講演Ⅲ> 『認知症が拓く新時代 ～介護の力と、つながる社会』 テレビキャスター、元 NHK 福祉ネットワークキャスター 町永 俊雄氏</p> <p>【2日目】〔分科会〕</p>	<p>52 名</p>
<p>全国老人福祉施設大会 《広島大会》への参加</p>	<p>10月 23 日 ～25 日</p>	<p>広島グリーンアリーナ</p>	<p>【1日目】〔開会式、全体会〕 <基調報告> 『科学的介護の実現と介護保険制度の展望』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏</p> <p><課題提起> 『日本再生…2025 社会保障の姿を考える』 全国老施協常任顧問・参議院議員 中村博彦氏</p> <p><講演> 『自衛する老後 ～介護崩壊を防げるか～』 東京福祉大学客員教授、元毎日新聞常務取締役 全国老施協理事 河内 孝氏</p> <p><記念講演> 『福祉・想いのまま』 杉 良太郎氏</p> <p>【2日目】〔分科会〕</p> <p>【3日目】〔全体会・閉会式〕 <シンポジウム> 『科学的介護の実践 ～根拠に基づいた介護を～』</p>	<p>49 名</p>

<p>近畿老人福祉施設協議会 施設長研修会 への参加</p>	<p>2月18日 ～19日</p>	<p>シティプラザ大阪</p>	<p>【1日目】〔開会式、講演〕 <講演Ⅰ> 『「生活支援戦略」と社会福祉法人 ・老人福祉施設に求められる役割』 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室長 熊木 正人氏 <講演Ⅱ> 『社会福祉法人・老人福祉施設の存在意義を 示す経営のあり方について』 日本社会事業大学専門職大学院 准教授 藤井 賢一郎氏 <シンポジウム> 『社会福祉法人・老人福祉施設の存在意義を 示す経営のあり方について』 (コーディネーター) 日本社会事業大学専門職大学院 准教授 藤井 賢一郎氏 (コメンテーター) 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室長 熊木 正人氏 (パネラー) 京都地域密着型サービス事業所協議会 会長 指定・社会福祉法人共同事業 地域密着型総合 ケアセンターきたおおじ 代表 山田 尋志氏 全国社会福祉施設経営者協議会 介護保険事業経営者委員会 委員長 社会福祉法人こうほうえん理事長 廣江 研氏 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 老人施設部会 副部会長 社会福祉法人大阪府老人施設部会 社会貢献事業推進委員会 委員長 社会福祉法人みささぎ会理事長 奥田 益弘氏 【2日目】〔講演〕 <講演Ⅲ> 『地域包括ケアにおける 「高齢者のすまい」のあり方について』 日本社会事業大学専門職大学院 准教授 井上 由起子氏 <講演Ⅳ> 『9割がバイトでも最高のスタッフに育つ ディズニーの教え方』 J S パートナー株式会社 代表取締役 福島 文二郎氏</p>	<p>31名</p>
--	-----------------------	-----------------	--	------------

5. 法人運営

法人の運営について協議するため開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
第 21 回 総会	6 月 26 日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<報告事項> 平成 23 年度事業報告 <議案事項> 第 1 号議案 平成 23 年度収支決算 (案)	出席会員数 266 名 (内、委任状 出席 33 名 書面議決権 行使者 110 名)
第 22 回 総会	3 月 26 日	県福祉センター	<議案事項> 第 1 号議案平成 24 年度事業計画の一部変更 (案) 第 2 号議案平成 24 年度第 1 次収支補正予算 (案) 第 3 号議案平成 25 年度事業計画 (案) 第 4 号議案平成 25 年度収支予算 (案) <報告事項> 役員推薦内規の一部改正	出席会員数 250 名 (内、委任状 出席 190 名)
第 1 回 理事会	6 月 5 日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<協議事項> 1. 平成 23 年度事業報告(案) 2. 平成 23 年度収支決算(案) 3. 本会入会事業所 4. 総会(案)の開催 5. 表彰について 6. その他 <報告事項> 1. 平成 24 年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. 退会事業所について	出席者 理事 19 名 監事 2 名
第 2 回 理事会	3 月 5 日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<議案事項> 1. 平成 24 年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成 24 年度収支補正予算(案) 3. 平成 25 年度事業計画(案) 4. 平成 25 年度収支予算(案) 5. 役員推薦内規の一部改正 (案) 6. 総会 (案) の開催について 7. 新規入会事業所について 8. 「介護老人福祉施設包括的自立支援プログラム 施設サービス計画書作成のポイント(事例編)」冊 子の処分 (案) 9. その他 <報告事項・依頼事項> 1. 退会事業所について	出席者 理事 19 名 監事 2 名
監事監査	5 月 22 日	県福祉センター	1. 平成 23 年度事業報告 2. 平成 23 年度決算	3 名

第1回 正副会長会議	4月10日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成24年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. 事業の進め方について 4. 総会協賛企業について 5. その他 	7名
第2回 正副会長会議	5月15日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成23年度事業報告(案) 2. 平成23年度収支決算(案) 3. 本会入会事業所 4. 運営委員会・理事会・総会(案)の開催 5. 表彰について 6. 退会事業所について 7. 平成25年度兵庫県予算についての政策提言(県社協経由分) 8. 県からの委託事業進捗状況 9. その他 <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全国老人福祉施設協議会からの依頼事項 2. 兵庫県功労者表彰 3. 国保連合会 苦情解決委員会 4. 規程について 	7名
第3回 正副会長会議	8月20日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予算要望について 2. 県受託事業等について 3. メーリングリスト等について 4. その他 <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険推進委員会調査について 2. 平成24年度部会・委員会構成。役割分担について 3. 養護部会 「無年金者への助成金の支給」市町への要望提出 4. 平成24年度介護報酬の改定に伴う取扱回答(姫路市) 	7名
第4回 正副会長会議	11月6日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員委員選出について 2. 県受託事業等について 3. メーリングリスト等について 4. 介護保険推進委員会調査報告について 5. 施設サービス契約書作成のポイント冊子について 6. 本会会費未納事業所について 7. その他 <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規入会事業所について 2. 嘱託職員求人について 3. 県基準条例の制定について 	7名

			4. 今後の研修事業の見直しに向けた意見依頼について（兵庫県社会福祉協議会）	
第5回 正副会長会議	12月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 県受託事業等について 2. 介護保険制度に関する勉強会について 3. 本会会員会費未納事業所について 4. その他 ・兵庫県功労者表彰の候補者の推薦 <報告事項> 1. 平成24年度介護保険給付費審査会	8名
第6回 正副会長会議	1月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 県受託事業について 2. 平成24年度介護報酬改定の影響調査、次期報酬改定に向けて 3. 拘束なき介護にむけての検討委員会職員研修会のブロック開催について 4. 次期役員・部会員、各委員会委員の選任について (1) 役員推薦内規の改正 (2) 各委員会委員の選任について 5. 大規模災害対策（危機管理マニュアルの策定）について <報告事項> 1. 平成25年度兵庫県予算 2. 福祉人材確保に向けての兵庫県教育委員会との懇談会 3. 介護労働安定センターの事業について 4. 志染愛真ホーム資格喪失について	7名
第7回 正副会長会議	2月8日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年度事業計画の一部変更（案） 2. 平成24年度第1次収支補正予算（案） 3. 平成25年度事業計画（案） 4. 平成25年度収支予算（案） 5. 役員推薦内規の変更（案） 6. 次期委員会委員の選任について ・介護保険推進委員会 ・調査研究委員会 ・研修委員会 ・LSA活動強化事業 7. 運営委員会・理事会・総会（案）の開催について 8. 県受託事業等について 9. 拘束なき介護にむけての検討委員会職員研修会のブロックとの合同開催について 10. その他 <報告事項> 1. 平成25・26年度各種委員会委員の継続状況 2. 定款変更	6名

第1回 運営委員会	5月25日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成23年度事業報告(案) 2. 平成23年度収支決算(案) 3. 本会入会事業所 4. 理事会・総会(案)の開催 5. 表彰について 6. 平成24年度部会・委員会構成・役割分担について 7. その他 <報告事項> 1. 他団体の役割分担について 2. 退会事業所について 3. 各部会・委員会報告会・ブロック報告 4. 県受託事業(依頼について)	20名
第2回 運営委員会	2月26日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成24年度収支補正予算(案) 3. 平成25年度事業計画(案) 4. 平成25年度収支予算(案) 5. 役員推薦内規の一部改正(案) 6. 理事会・総会(案)の開催について 7. 県受託事業等について 8. 新規入会事業所について 9. 「介護老人福祉施設包括的自立支援プログラム施設サービス計画書作成のポイント(事例編)」冊子の処分(案) <報告・依頼事項> 1. 近老協滋賀大会研究分科会発表及び参加割当について 2. 退会事業所について 3. 各部会・委員会報告・ブロック報告 4. 平成25年度県受託事業等	18名
老人福祉法 制定50周年 記念誌作成 委員会 (5回)	4月19日	県福祉センター	<協議事項> 1. 記念誌構成について 2. 座談会について 3. その他	7名
	5月31日	県福祉センター	<協議事項> 1. 記念誌構成について 2. 座談会について 3. その他	6名
	7月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 年表の確認 2. 座談会について 3. その他	7名
	9月25日	県福祉センター	<協議事項> 1. 年表・インタビュー記事の確認 2. 座談会について 3. その他	6名

	11月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 年表・インタビュー記事の確認 2. 座談会について 3. その他	4名
老人福祉法 制定50周年 記念誌 座談会	11月27日	県福祉センター	老人福祉福祉法制定50周年記念誌への掲載を目的に、これまでの活動と今後の展望について、会長、副会長2名及び部会長3名で座談会を開催した。	6名

6. 受託事業等

① LSA活動強化事業（受託事業）

LSAの活動を支援することにより、シルバーハウジング等に入居している高齢者の介護予防・生活支援に資するため、専門相談会及び研修・交流会を開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
委員会 (2回)	7月6日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度事業報告について 2. 平成24年度LSA活動強化事業について <協議事項> 1. 平成24年度事業スケジュールについて ①委員会の開催について ②LSA専門相談会について ③LSA研修会について 2. 平成25年度予算要望について 3. LSA連絡会より 4. その他	5名
	3月22日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成25年度予算要望について <協議事項> 1. 平成24年度専門相談会について 2. 平成24年度研修会について 3. 平成25年度事業について 4. その他	4名

専門相談会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
専門相談会 (4回)	5月29日	県福祉センター	『介護サービス基盤強化のための介護保険法等の 一部改正について』 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課課長補佐兼 高年保健福祉係長 藤原恵美子氏 『LSAのいろは ～事例検討をとおして考えるLSA業務～』 西宮恵泉 LSA 山下園恵氏 サンプラザ平成 LSA 渡邊賢子氏	40名 (LSA 25名)

	10月17日	県福祉センター	『こころを元気に ～ほんわかストレスケア～』 心理スペース「ぼれぼれ」代表 稲松由佳氏	23名 (L S A 15名)
	12月15日	県福祉センター	『精神疾患症状の基礎知識とその対応』 精神保健福祉士 藤田修美 氏	35名 (L S A 19名)
	2月13日	県福祉センター	『高齢者に関わる上で必要な医療知識③』 ～パーキンソン病と認知症について～』 特養の「看取り介護」を向上させる会 主宰 小村一左美 氏	25名 (L S A 16名)

研修会・交流会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修会 (2回)	10月17日	県福祉センター	講義・演習 『対人援助職の視点と技術について②』 講師：兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人氏	48名 (L S A 32名)
	2月13日	県福祉センター	講演 『在宅、地域で暮らす高齢者への ターミナルケア支援』 芦花ホーム 医師 石飛幸三氏	47名 (L S A 32名)

② 福祉・介護従事者キャリアアップ研修事業（補助事業）

福祉人材確保対策事業の一環として、老人福祉施設・事業所の福祉・介護従事者のキャリアアップを支援するための県の助成制度（補助）を利用して下記研修会を実施した。

[以下再掲]

ケアプランリーダー養成研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン リーダー養成 研修会 (年2回)	7月12日 ～ 7月13日	ホテルパール シティ神戸	(1日目) 講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームこぶし園 邊見豊氏 共通事例説明・演習 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 講義③『ケアプランリーダーの心得、研修プログラムの 構成について』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 ブロック研修プログラムについて (2日目) 共通事例演習②・共通事例演習総括 講義④「ICFの概念と“包括的自立支援プログラム (アセスメントツール)”」	24名

			特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏
	9月27日	県福祉センター	共通事例演習（ICF 概念） 自施設事例演習 研修会総括 特別養護老人ホームこぶし園 邊見豊氏

デイ部会リーダー育成研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
リーダー育 成研修会	11月16日	県福祉センター	講義『介護リーダーの仕事術 2012 ～会議力&企画力アップを目指して～』 メディックプランニング 代表 三好貴之氏	90名

③ 潜在有資格者活用事業・介護雇用プログラム事業（受託事業）

支援員の配置

本会に支援員を配置し、県が実施する次の2事業について、県と関係施設との間の連絡調整、委託契約及び実績報告のとりまとめ、実施施設への情報提供等の業務を行った。

介護雇用プログラム事業

介護福祉事業者が失業者を有期雇用契約労働者として新たに雇用し、介護施設等で介護業務に従事させるとともに、介護資格（介護福祉士・訪問介護員養成研修2級課程）取得のための養成講座を受講させることにより、介護現場の雇用の拡大と介護人材の育成・確保を図る事業。

潜在有資格者活用事業

介護福祉施設等において、訪問介護員養成研修2級課程等の資格を有する失業者を有期雇用契約労働者として新たに雇用し、介護施設等で介護業務に従事させるとともに、キャリアアップのための実務研修等を実施し、介護職員として正規雇用につなげる事業。

介護雇用プログラム事業	平成23年度より継続事業	14事業所（15名）
	平成24年度新規事業	13事業所（13名）
潜在有資格者活用事業	平成24年度新規事業	5事業所（5名）

④ 福祉・介護啓発事業（受託事業）

福祉・介護に対する県民の理解を一層深めるための啓発事業として、11月11日「介護の日」に合わせて、認知症・認知症ケアをテーマとした公開シンポジウムを実施した。（再掲）

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護の日 シンポジウ ム	11月7日	兵庫県民会館	講演①「老いを生きるということ」 精神科医・浜田クリニック 竹中星郎氏 講演②「介護の達人は人生の達人」 フリーアナウンサー・エッセイスト 小谷あゆみ氏	169名

⑤ 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業（受託事業）

災害復興公営住宅等に居住する被災高齢者等のうち、特に見守りが必要な高齢者について、シルバーハウジングでは「生活援助員（L S A）」が、災害復興公営住宅等では「高齢世帯生活援助員（S C S）」等が対応しているが、夜間・休日の対応が必ずしも十分でないことを踏まえ、フリーダイヤルによる夜間・休日「安心ほっとダイヤル」事業を開設し、被災高齢者等の見守り体制の充実を図ってきた。

なお、これまで規模を縮小しながら継続してきたが、震災関連事業の見直しに伴い、利用状況や他の相談事業の整備状況等を勘案し24年度をもって廃止された。

相談実績

相談窓口設置地区	登録者数	相談件数
阪神地区	492 世帯	27 件
淡路・東播磨地区	45 世帯	
合計	537 世帯	

⑥ 介護技術講習会の開催（受託事業）

要支援、要介護になってもできる限り住み慣れた地域で暮らせるよう、家族の介護力を高めるため、利用者家族・地域住民等県民を対象として、特別養護老人ホーム等会員事業所で介護福祉士等が講師となり介護技術の講習会を開催した。

実施実績

事業説明会	平成24年6月8日 姫路市自治福祉会館 37名 平成24年6月14日 県福祉センター 40名
介護技術講習会の開催（再委託）	71事業所 122回 2,696人

⑦ 認知症予防教室の開催（受託事業）

今後認知症高齢者の増加が見込まれていることから、県では認知症予防キャンペーンを展開している。その一環として、本会会員事業所で、利用者家族・地域住民等県民を対象として、認知症予防、早期発見、早期受診につなげる為予防教室を開催した。

実施実績

事業説明会	平成24年6月8日 姫路市自治福祉会館 37名 平成24年6月14日 県福祉センター 40名
認知症予防教室の開催（再委託）	40事業所 40回 1,337人

⑧ 福祉・介護従事者の長期派遣支援事業（受託事業）

福祉・介護従事者を先導的な取組を行っている他の施設・事業所へ一定期間派遣する事業者を支援することにより、高度化する介護サービスニーズに的確に応えることができる人材を育成するため、派遣職員の代替職員として離職者等を雇用する事業。

コーディネーターの配置

本会にコーディネーターを配置し、県が実施した事業について、施設への事業のPR、県と関係施設との間の連絡調整、報告会の開催、委託契約及び実績報告のとりまとめ、実施施設への情報提供等の業務を行った。

実施実績

福祉・介護従事者の長期派遣支援事業	3施設4名
報告会の開催	平成25年3月18日 県福祉センター 10名（研修生、派遣元・派遣先施設） 県 2名

⑨ 元気高齢者ホームヘルパー就職支援事業（受託事業）

元気高齢者に対する介護分野で活躍できる場の提供、介護マンパワーの量的拡大を目的として、元気高齢者に介護施設での短時就労機会を提供するとともに、ホームヘルパー2級資格の取得を支援する事業。

コーディネーターの配置

本会にコーディネーターを配置し、県が実施した事業について、事業のPR、事業（就労）希望者と施設とのマッチング、合同研修会の開催、県と関係施設との間の連絡調整、委託契約及び実績報告のとりまとめ、実施施設への情報提供等の業務を行った。

実施実績

元気高齢者ホームヘルパー就職支援事業	19施設33名
合同研修会 「介護現場は夢のある仕事」 (株)ユーアンドアイ代表 秦 義則氏 「高齢者への接し方」 看護師、ケアマネジャー 下山 洋子氏 「介護現場で役立つ歌とゲーム」 NPO法人 認知症予防サポートネット 福田 章氏 事例検討	平成25年3月18日 県福祉センター 26名（事業対象者）